

あけましておめでとうございます。

市民のみなさまには、希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げますとともに、日頃よりむつ市議会に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、平成最悪の豪雨災害となった「西日本豪雨」や、震度7を記録した「北海道胆振東部地震」などの大規模な災害に見舞われた年でありました。近年は、日本各地において、過去に例を見ない大規模な自然災害が頻発している状況にあります。議会といたしましても、昨年11月に市内5会場において「議会報告会及び市民との意見交換会」を開催し、『災害に強いまちづくり』をテーマに貴重なご意見をお伺いいたしました。防災意識の向上に努めることが重要であり、改めて市民のみなさまの安全・安心な暮らしを守るため、防災・減災対策に取り組む決意を新たにいたしました。

一方、当市においては、新たなご当地グルメ、航空自衛隊第42警戒群の「大湊 Sora 空っ!」の販売開始のほか、一昨年デビューした「大湊海自カレー」においては、レトルトやカレーパンといった新商品もお目見えするなど、地域経済の活性化につながる明るい出来事であり、観光客の増加による交流人口の拡大にも大いに期待するところであります。

さて、今年は国民生活への影響が大きい「変化の年」と言えるのではないのでしょうか。5月には「平成」に変わり新たな時代が始まります。10月からは、景気回復が十分ではないという理由で延期されてきた消費税率が、10%に引き上げられます。

また、亥年は選挙の年であり、統一地方選挙、参議院議員選挙に続き、秋には当市議会議員選挙が控えております。今改選から、議員定数を26名から22名へと4名減とし、むつ市議会の体制も変化するところであり、これまで以上にみなさまの多様なご意見やご要望を、市政に適切に反映させる責務を担うこととなります。

変化は進化するためのチャンスであり、地域の特色を生かし創意工夫を重ねることで、市制施行60周年を迎えるふるさとむつ市の更なる発展のため、尽力してまいりたい所存であります。

新年にあたり、より身近な分かりやすい市議会を目指し、全議員決意を新たにいたしておりますので、今後ともみなさまの一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が活力にあふれ、市民のみなさまが笑顔で暮らせる素晴らしい年になりますよう心より祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

むつ市議会議長

白井 二郎

むつ市議会議長年頭挨拶



変化は
進化の
チャンス



むつ市長年頭挨拶

まずは、昨年を一文字で。「走」。憲法駅伝を走り、公務で国内外を走り回り、政策でも走り続けることができました。

あけましておめでとうございます。むつ市民のみなさまにおかれましては健やかに新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

走ることはシンプルなようで難しく、多くのことを学びました。5月の憲法駅伝では選手として沿道のみなさまから大きな声援を受け、応援が背中を後押しすることを肌で感じました。そして、毎朝の体力づくりとしての走りにも終わりはなく、健康な状態でいられるのもチャレンジをコツコツと続けてはじめて達成できるということも実感しています。

昨年の6月の再選以来、現在2期目を駆けています。無投票再選という結果は、自分自身にもっと多くの市民のみなさまの声を傾けなければならない、そしてもっと多くの声を形にしなければならないという二つの課題を提起しました。2019年は、これまでの挑戦によって見えてきた道筋をより確かなものとし、多くの市民のみなさまが毎朝“希望をもって目覚められる”ようなむつ市にしたいと強く願っています。

県内外に出かけると、むつ市が元気だと言ってもらえることが多くなってきているような気がします。政策面でトップランナーを自覚し、挑戦し続けた結果だとも考えています。

ただ一方で、どれだけ市民のみなさまが生活の中でこのことを実感できているのかと思いをはせることも多いです。むつ総合病院の待ち時間は長いまま、下北半島縦貫道路もまだ全線開通のメドがなく、子供たちの教育水準は県内でも上位とはいえません。お年寄りが将来に不安のない毎日を送れているのか、パパやママに子育ての幸せを実感できる環境を整えられているのか…。

まだまだ、目の前に大きな課題が立ちはだかっています。成果を市民の暮らしの中で手にとって実感していただけるよう一歩でも更に進める一年にしたいと思います。

今年は、むつ市制施行60周年の記念すべき年となります。一年を通じて、むつ市内が祝祭に満ちた年になることに大いに期待をしています。みんなで盛り上げていきましょう。加えて、5月にはいよいよ新しい時代が幕を開けます。むつ市もこの新しい時代に相応しい挑戦を続け、“平成のむつ市”から一歩進め、豊かさを実感できる、かがやく笑顔で暮らせる、希望に満ちたまちにみなさまと手をたずさえて進めていき、今年の一文字は「進」と年末に振り返ることができるよう、諸課題に果敢に立ち向かい、そのあゆみを確実に進めたいと考えています。

多くの市民のみなさまに実感としてむつ市がよくなったと思ってもらえる『その先のむつ市』を目指して参りますので、なお一層のご協力をお願い申し上げます。

むつ市長

宮下 宗一郎

その先の
むつ市へ
～新しい時代の幕開け～

